



- Community Outreach for club activities in Kawanishi

川西市における 部活動の社会移行

目次

- 01 部活動の社会移行がめざす 3 つの基本姿勢
- 02 子どもたちが主体的に選択できる多様な活動へ
- 03 子どもたちにより専門的で安全な活動を
- 04 子どもたちがこの先も活動続けるために
- 05 これまでの歩みとこれからの取り組み

01 部活動の社会移行がめざす3つの基本姿勢

3

1

子どもたちが
主体的に選択
し、一人一人に
応じた多様な方
法で参加できる

2

子どもたちが
より専門的で
安全な活動を
体験することが
できる

3

中学生としてだ
けではなく、生
涯スポーツ・生
涯学習の一環と
して、持続可能
な体験ができる

「川西市における地域クラブの在り方に関する方針」より



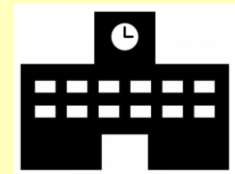
01 部活動の社会移行がめざす3つの基本姿勢

4

○イメージ図

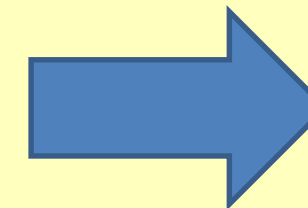
学校部活動

地域クラブ



活動場所

各自の中学校



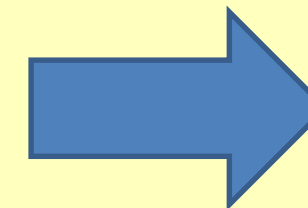
市内の中学校

個別施設・文化施設



活動日数

最大週5日



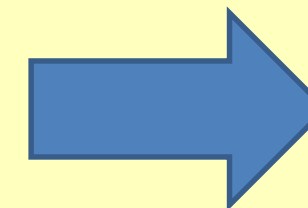
週1～5日

※各クラブが柔軟に設定



参加者

自校の中学生



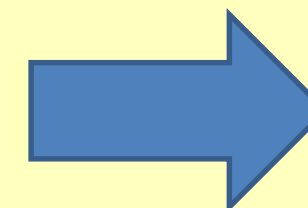
参加範囲を柔軟に設定

※1校、複数校、多世代・・・



指導者

学校の教員



地域の指導者
(有志の教員や保護者等を含む)

02 子どもたちが主体的に選択できる多様な活動へ

5

1

子どもたちが
主体的に選択
し、一人一人に
応じた多様な方
法で参加できる

【部活動での課題】

- ・中学校の規模によって部活動数に差がある
- ・顧問の考えに部活動の運営方針が左右されやすい

説明項目

(1) 多様なスポーツ・文化活動へ

(2) 一人一人の目的に応じた活動へ

「川西市における地域クラブの在り方に関する方針」より



02 (1) 多様なスポーツ・文化活動へ

6

Q.どのような活動がやってみたいですか？（1人3つまで回答可）（R5.10月）

【小学校4～6年生】

1位：調理	17.8%
2位：ダンス	15.1%
2位：バドミントン	15.1%
4位：プログラミング	14.1%
● 5位：バスケットボール	12.4%
● 6位：サッカー	12.3%

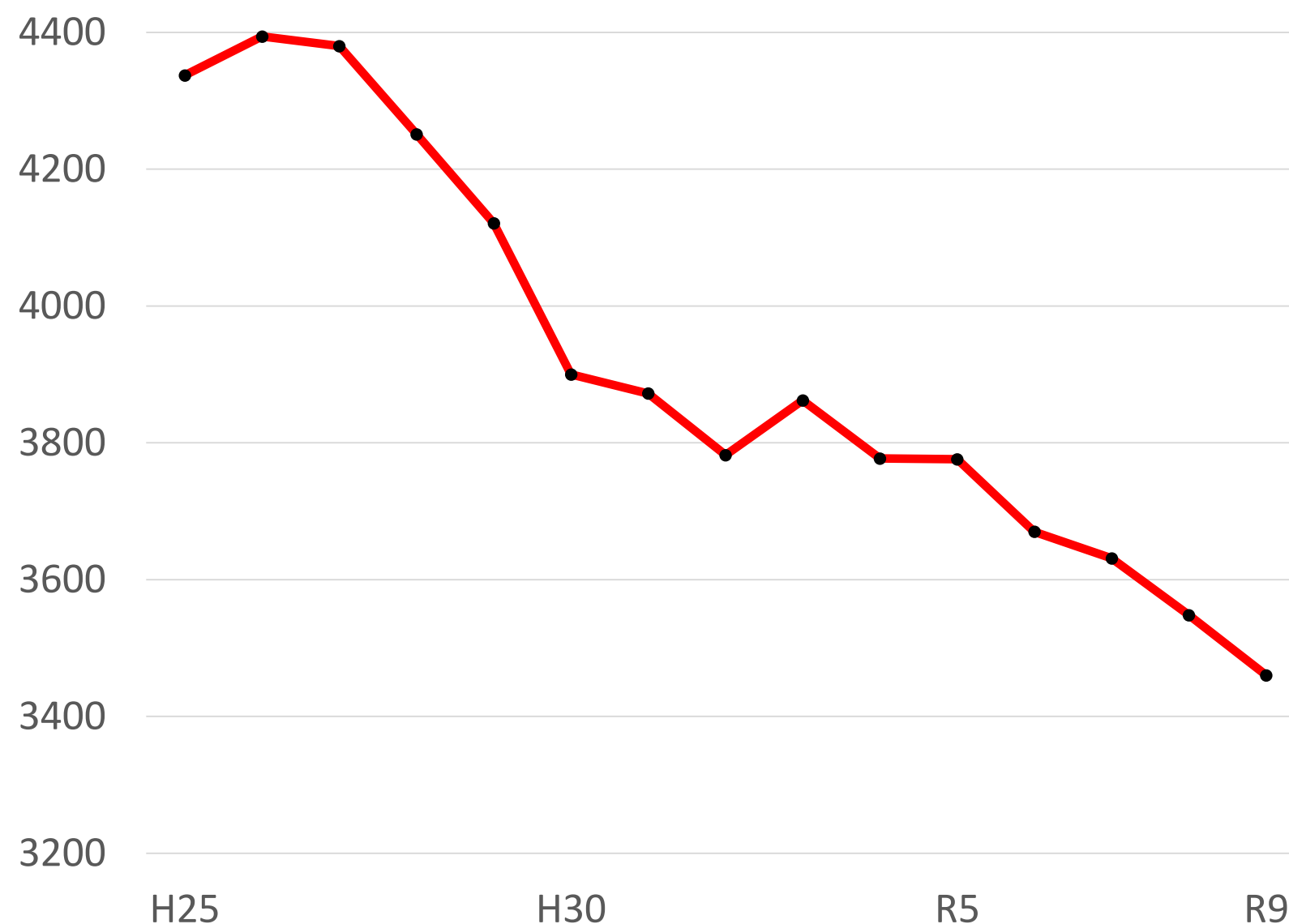
（回答数：1,565人 回答率：40.9%）

【中学校1～2年生】

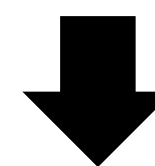
1位：バドミントン	17.1%
2位：ダンス	13.0%
● 3位：ソフトテニス	12.3%
● 4位：バレーボール	12.1%
5位：調理	10.6%
6位：弓道	10.5%

（回答数：1,032人 回答率：42.0%）

川西市における中学生数の推移



過去10年の例で、市内中学校の部活動のうち、運動部では水泳部や柔道部が廃部されたり、文化部では家庭科部と茶道部が再編され1つの部活動にまとまったりしています。



少子化が進む中で、新しい部活動が増えることは難しく、**今後も部活動数は減少していくことが予想されます。**



02 (1) 多様なスポーツ・文化活動へ

8

Q.どのような活動がやってみたいですか？（1人3つまで回答可）（R5.10月）

【小学校4～6年生】

● 1位：調理	17.8%
● 2位：ダンス	15.1%
● 2位：バドミントン	15.1%
● 4位：プログラミング	14.1%
5位：バスケットボール	12.4%
6位：サッカー	12.3%

（回答数：1,565人 回答率：40.9%）

【中学校1～2年生】

● 1位：バドミントン	17.1%
● 2位：ダンス	13.0%
3位：ソフトテニス	12.3%
4位：バレーボール	12.1%
● 5位：調理	10.6%
● 6位：弓道	10.5%

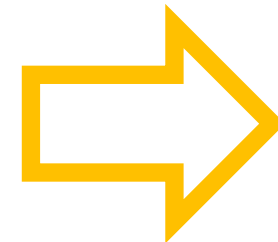
（回答数：1,032人 回答率：42.0%）

02 (1) 多様なスポーツ・文化活動へ

9

これまでの部活動（72部活動）

種目	部活動数
軟式野球	7
サッカー	6
陸上競技	7
柔道	1
剣道	5
男子バレー	2
女子バレー	7
男子バスケ	5
女子バスケ	6
男子卓球	7
女子卓球	5
男子ソフトテニス	6
女子ソフトテニス	7
水泳	1



地域クラブの活動（65団体、延べ85クラブ※）

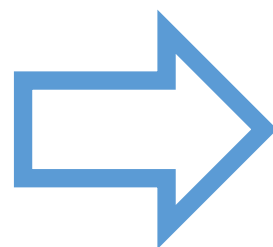
種目	クラブ数	種目	クラブ数
軟式野球	5	硬式テニス	4
サッカー	4	ダンス	6
陸上競技	4	少林寺拳法	1
柔道	2	空手	4
剣道	4	ラグビー	1
男子バレー	3	バドミントン	1
女子バレー	5	ハンドボール	1
男子バスケ	8	弓道	1
女子バスケ	7	レスリング	1
男子卓球	4	モルック等	1
女子卓球	4	ダブルダッチ	1
男子ソフトテニス	5	ゴルフ	1
女子ソフトテニス	5	チアリーディング	1
水泳	1	※ 1つの団体が男女の受け皿となったり、複数校を拠点に活動したりしているため、団体数とクラブ数が異なっている	



02 (1) 多様なスポーツ・文化活動へ

これまでの部活動（18部活動）

種目	部活動数
吹奏楽	7
美術	7
総合文化	2
コーラス	1
囲碁・将棋	1



地域クラブの活動（36団体、36クラブ）

種目	クラブ数	種目	クラブ数
吹奏楽	7	演劇	2
美術	2	手芸	2
総合文化	0	服飾・デザイン	1
コーラス	1	プログラミング	2
囲碁・将棋	1	調理	3
		書道	5
		茶道	3
		音楽・楽器	2
		韓国語	1
		イタリア語	1
		ボランティア	1
		論語・詩吟等	1
		模型制作	1

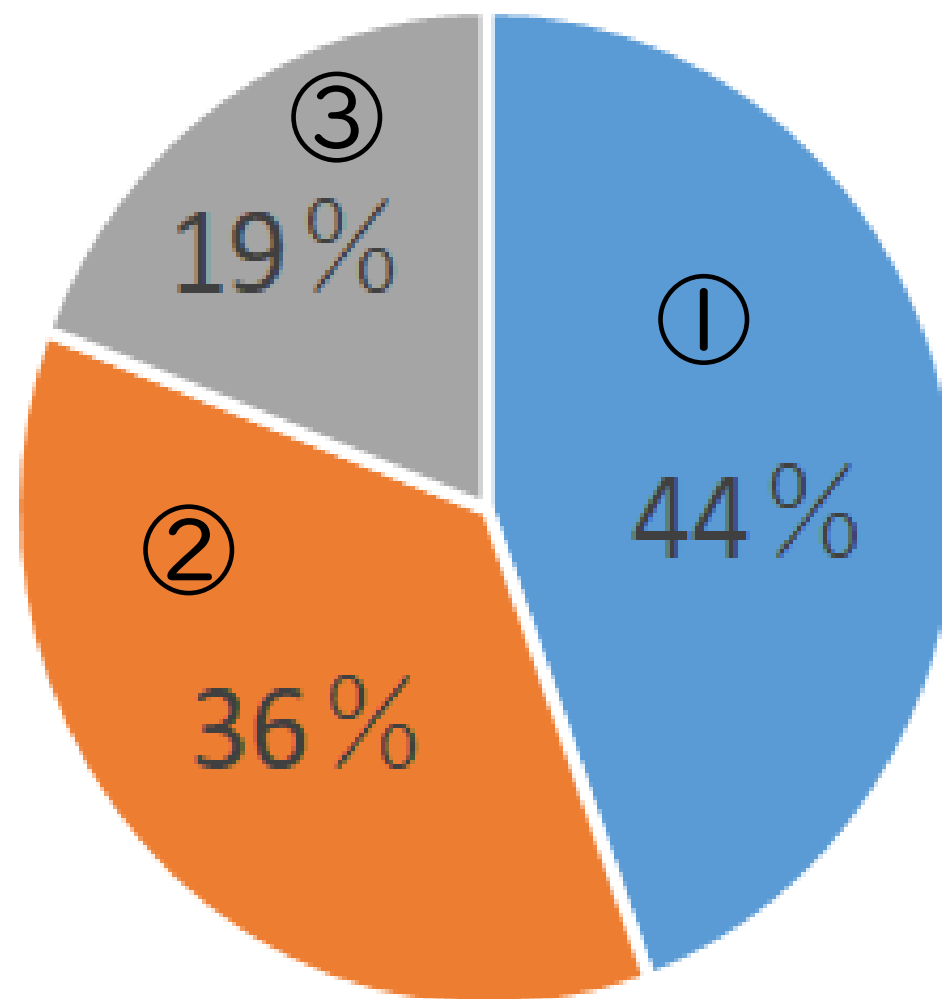


02 (2) 一人一人の目的に応じた活動へ

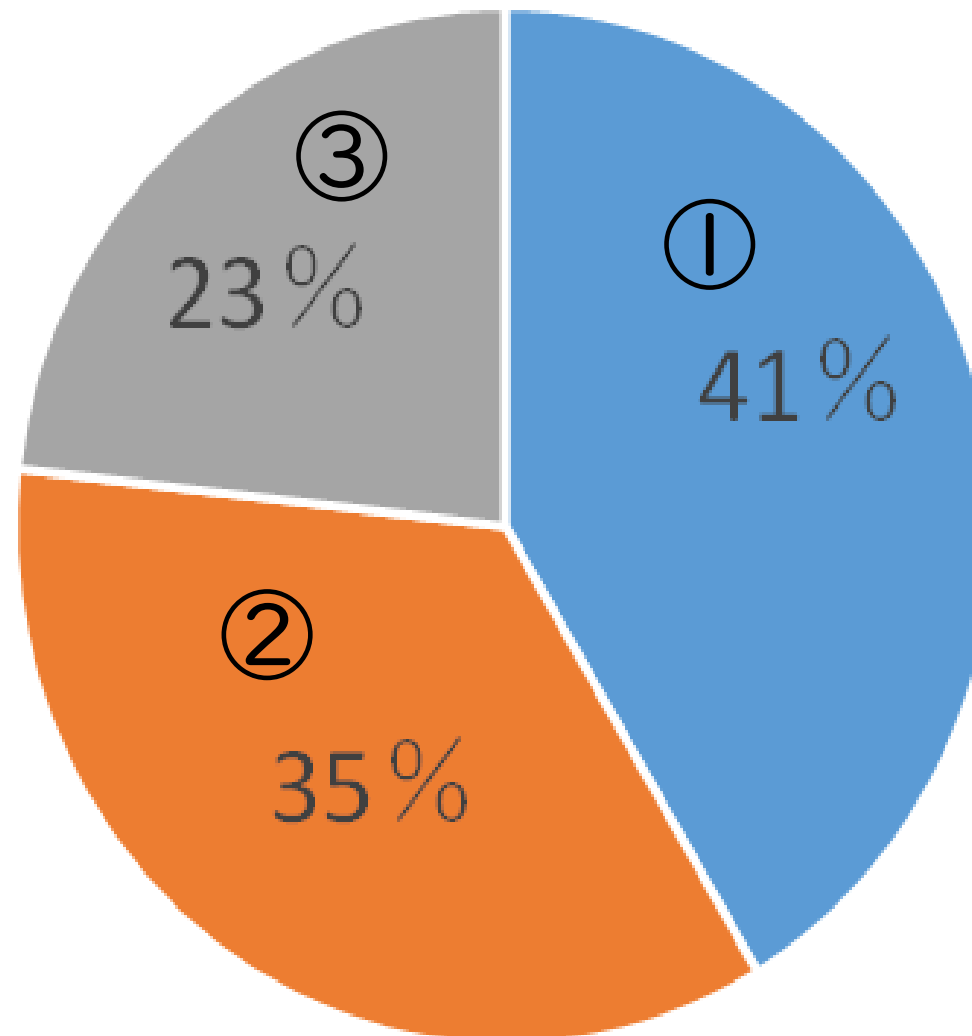
11

Q.文化・スポーツ活動について目的を3つに分類した場合、
みなさんがしたい活動は次のどれに当てはまりますか。(R5.10月)

【小学校4～6年生】



【中学校1～2年生】

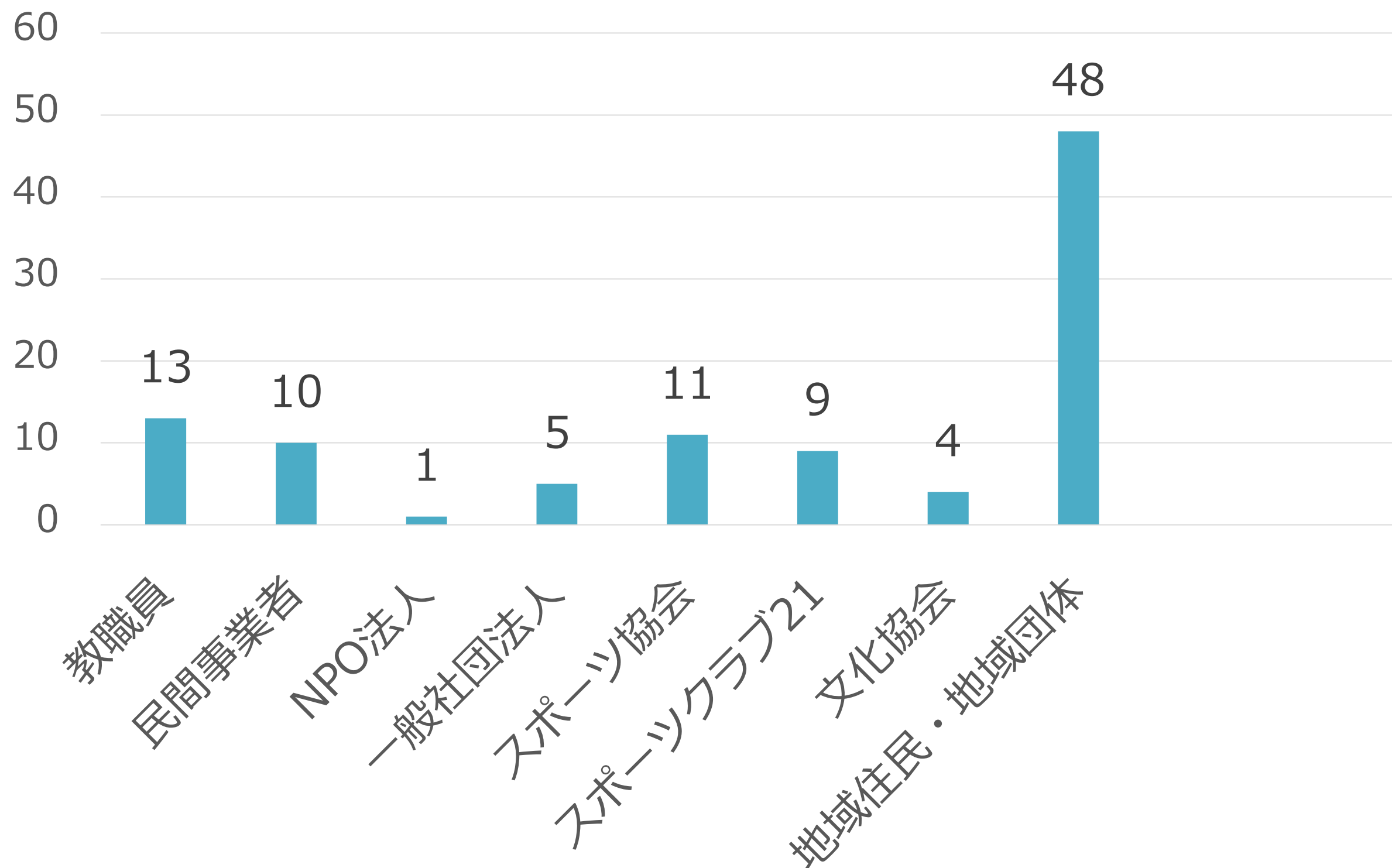


- ① みんなで楽しむレクリエーション的な活動
- ② 技術を教えてもらう活動
- ③ 成績や結果を重視した活動

02 (2) 一人一人の目的に応じた活動へ

12

各地域クラブの運営関連の内訳



責任者(指導者)の声



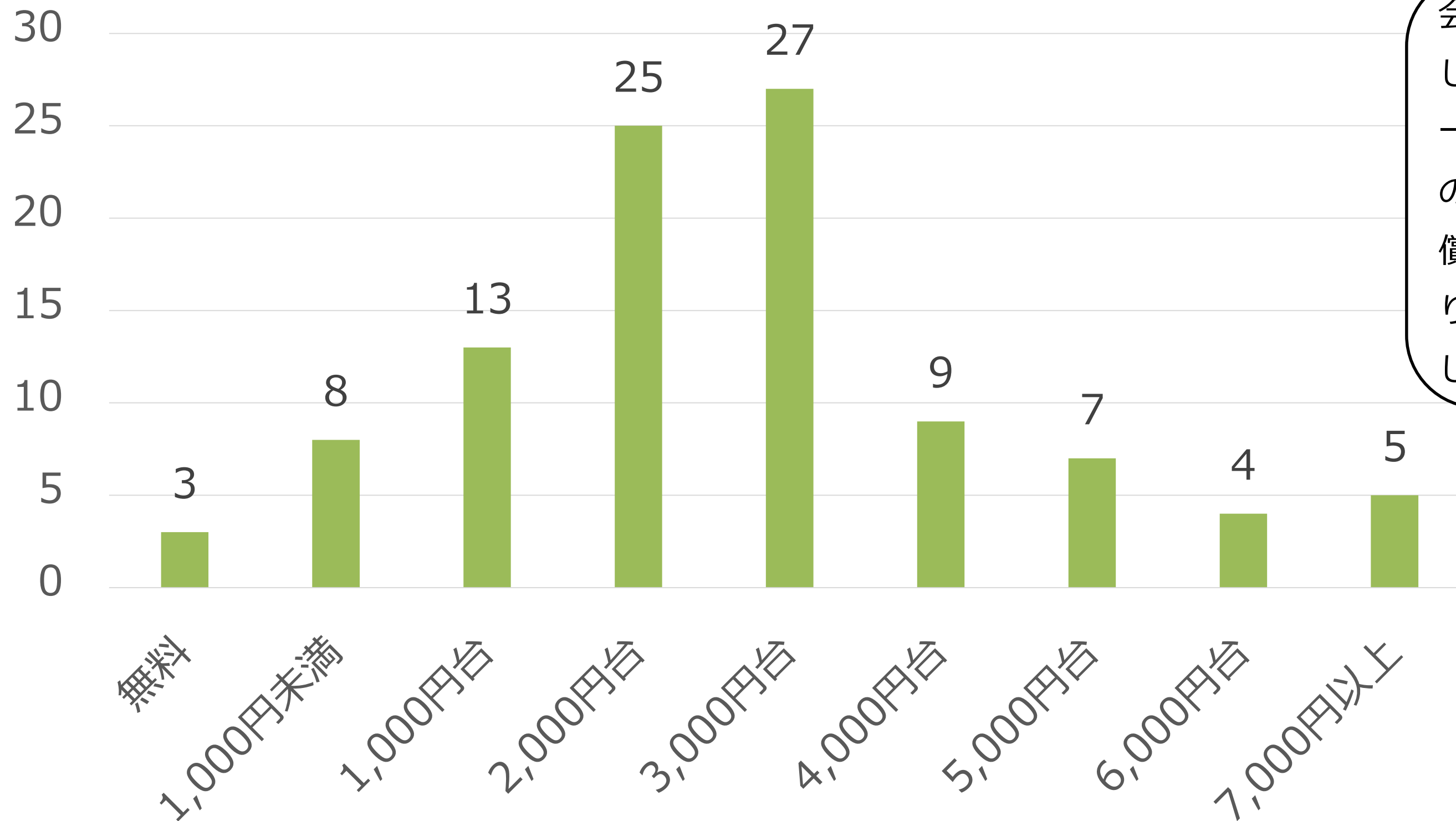
中体連の大会にも出場し、これまでの部活動と変わらない活動をめざしていきます。

身体を動かすことを目的とするので、大会への出場予定はありません。

どのような大会に出場するかは参加する子どもたちと相談し、中体連への申請も検討します。



各地域クラブの月会費内訳



会費の設定は地域クラブに一任しています。

一方で、地域クラブの担当者との面談の中で、中学校施設の無償開放などを通じて、できる限り低廉な会費となるように依頼しています。



2

子どもたちが
より専門的で
安全な活動を
体験することが
できる

【部活動での課題】

- ・顧問のうち、競技経験がある者の割合は決して高くない
- ・大学の講義で、安全な運営について専門的に学ぶ機会がない

説明項目

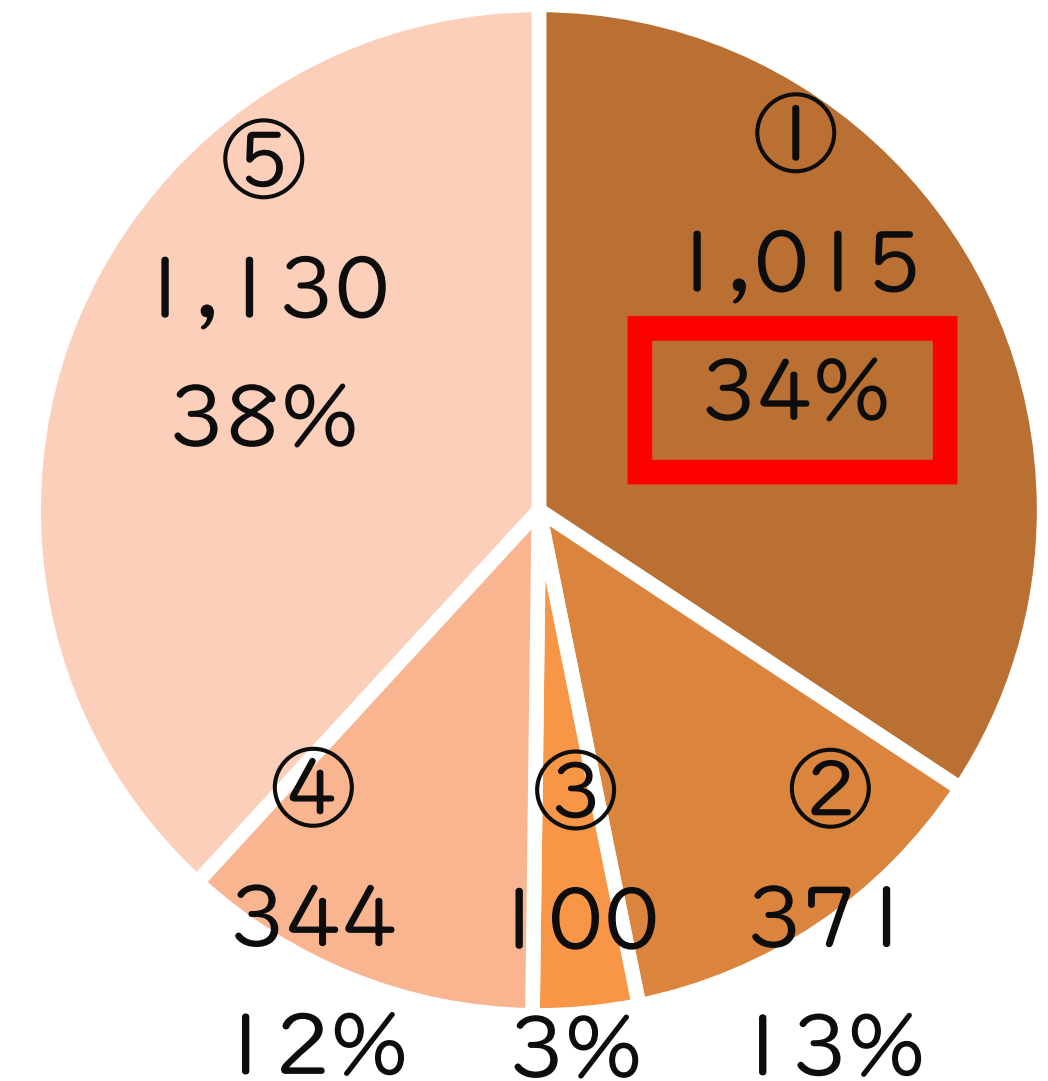
(1) より専門的な指導体制へ

(2) 安全・安心な活動へ



Q.部活動が外部に移行されることについて、どういうことに期待していますか。
(R5.5月 中学１年生～３年生)

- ① 専門性のある質の高い指導を受けられる
- ② 他中学校からの部員が増え、交流が広がる
- ③ 一つの競技だけでなく、複数の競技を体験することができる
- ④ 自分の時間や予定に合わせて自由に参加できる
- ⑤ 特になし

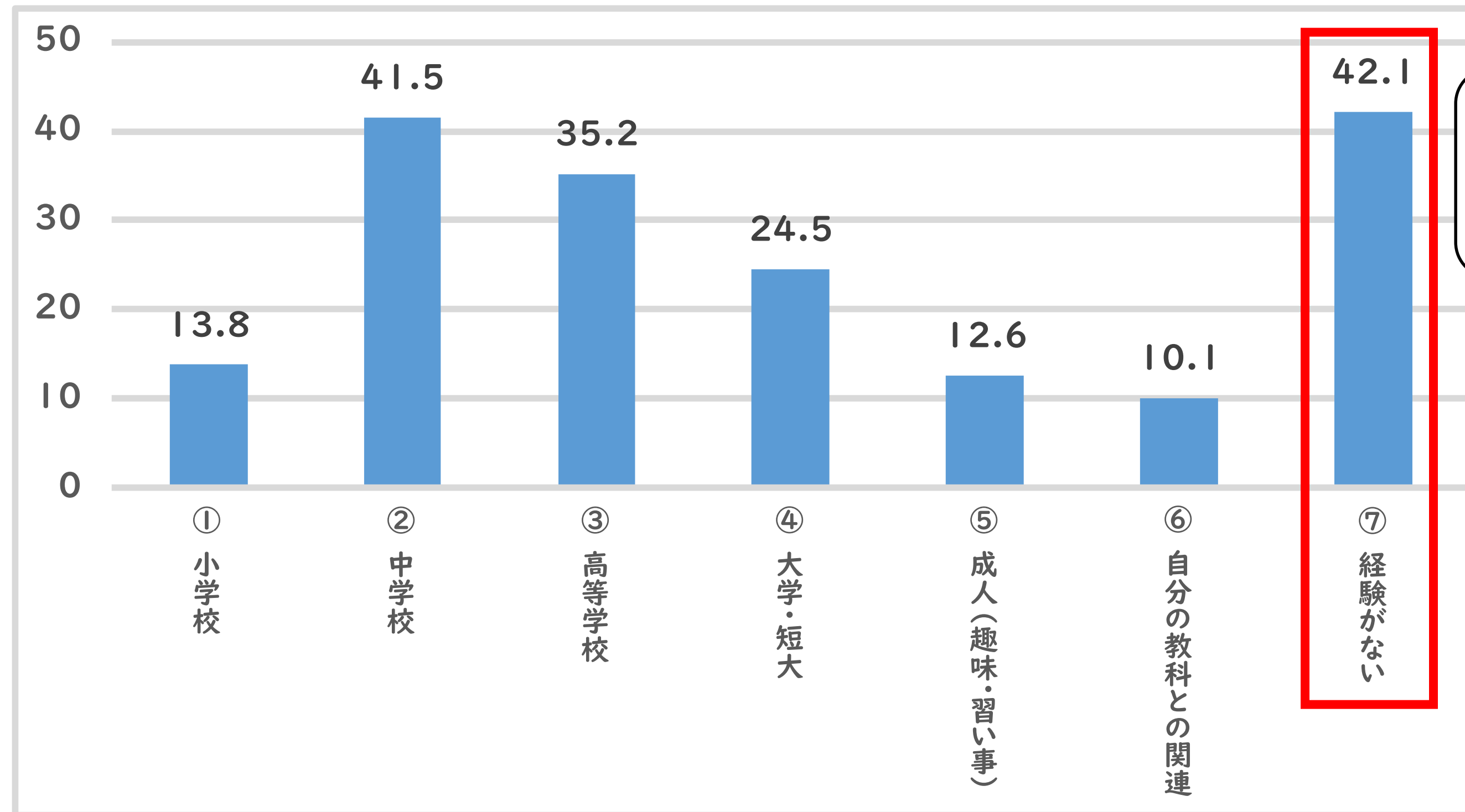


03 (1) より専門的な指導体制へ

16

Q. 顧問をする部活動の活動（競技）経験について、あてはまるものはどれですか。

(n = 116)



地域クラブの指導者は、ポータルサイトで指導資格や経歴等を公表しています。(※)



※公表資格等の例

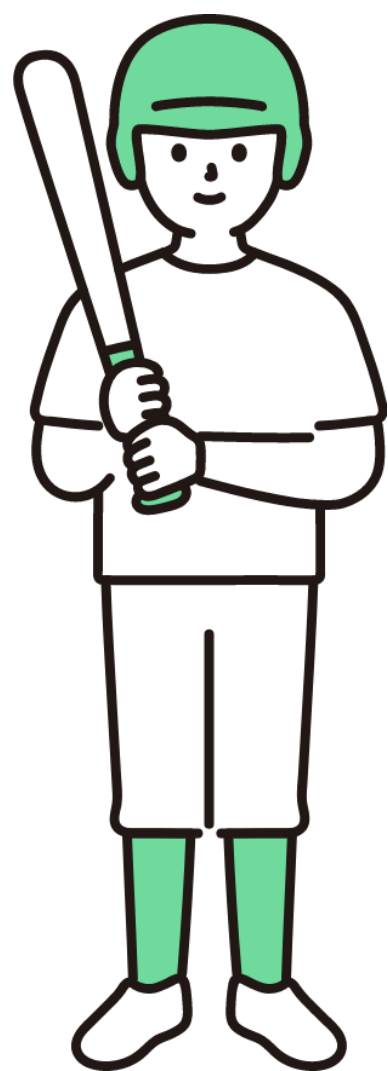
指導資格・ 経歴等	日本プロテニス協会認定プロフェッショナル 日本体育協会認定ジュニアスポーツ指導員
指導資格・ 経歴等	JBA公認コーチE級ライセンス 公立中学校教員として18年指導

《地域クラブに対する指導・支援》

- ① スポーツ安全保険等への加入を義務づけ
(災害共済給付と同等の補償額で、かつ行き帰りの事故も補償)
- ② 週あたり2日以上の休養日を設定する
(活動時間は平日2時間 休日3時間程度を上限)
- ③ 登録希望のすべての地域クラブと、市教委事務局・
中学校管理職が面談を実施
- ④ 指導者への講習会を実施
- ⑤ 令和7年度は市教委担当者が活動を視察するとともに、
学校運営協議会との連携も強化する



令和6年度の熱中症事故防止、スポーツ医学講習に加え、令和7年度はさらに、ハラスメント防止、生徒理解、子どもの権利、救急救命等の講習を実施予定



【参加生徒の声】

地域クラブは、**下校時間を気にせず活動できる**ので、練習に打ち込める時間が増えました。

【参加生徒の声】

自分の中学校の生徒だけではなく、**他校から来る子もいるので、互いに高め合うことができてうれしいです。**

【教員の声】

地域クラブになったことで、**教員の都合に左右されずに活動できます。**生徒のもっとやりたいという気持ちに応えることができました。



【指導者の声】

部活動が縮小されてしまうのはさみしいと思い指導者になりました。**子どもたちに活躍できる場をつくれて良かった**です。



3

中学生としてだけでなく、生涯スポーツ・生涯学習の一環として、持続可能な体験ができる

【部活動での課題】

- ・少子化の影響で、部員数の減少が続いている
- ・引退をもって、活動に携わる機会がなくなってしまう

説明項目

(1) 部活動の現状

(2) 部活動の位置づけ

(3) 生涯にわたった活動へ

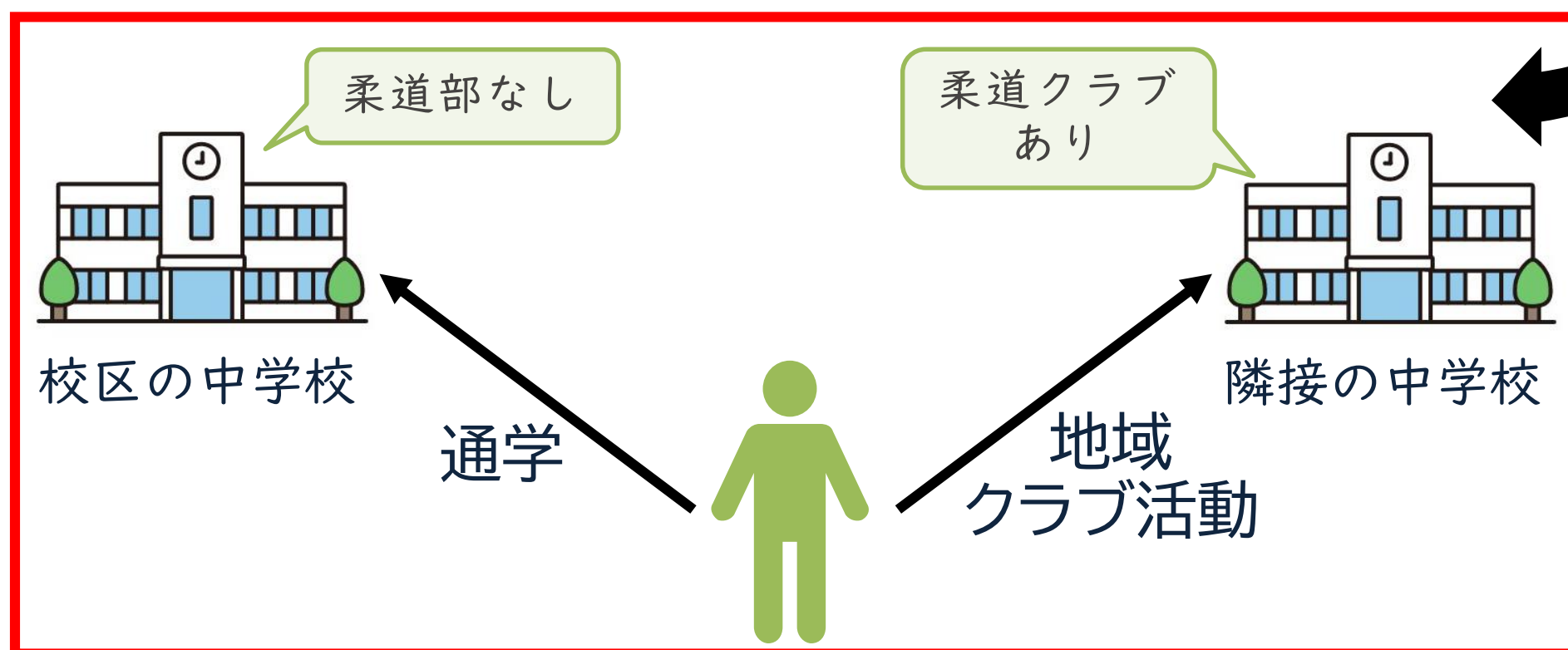
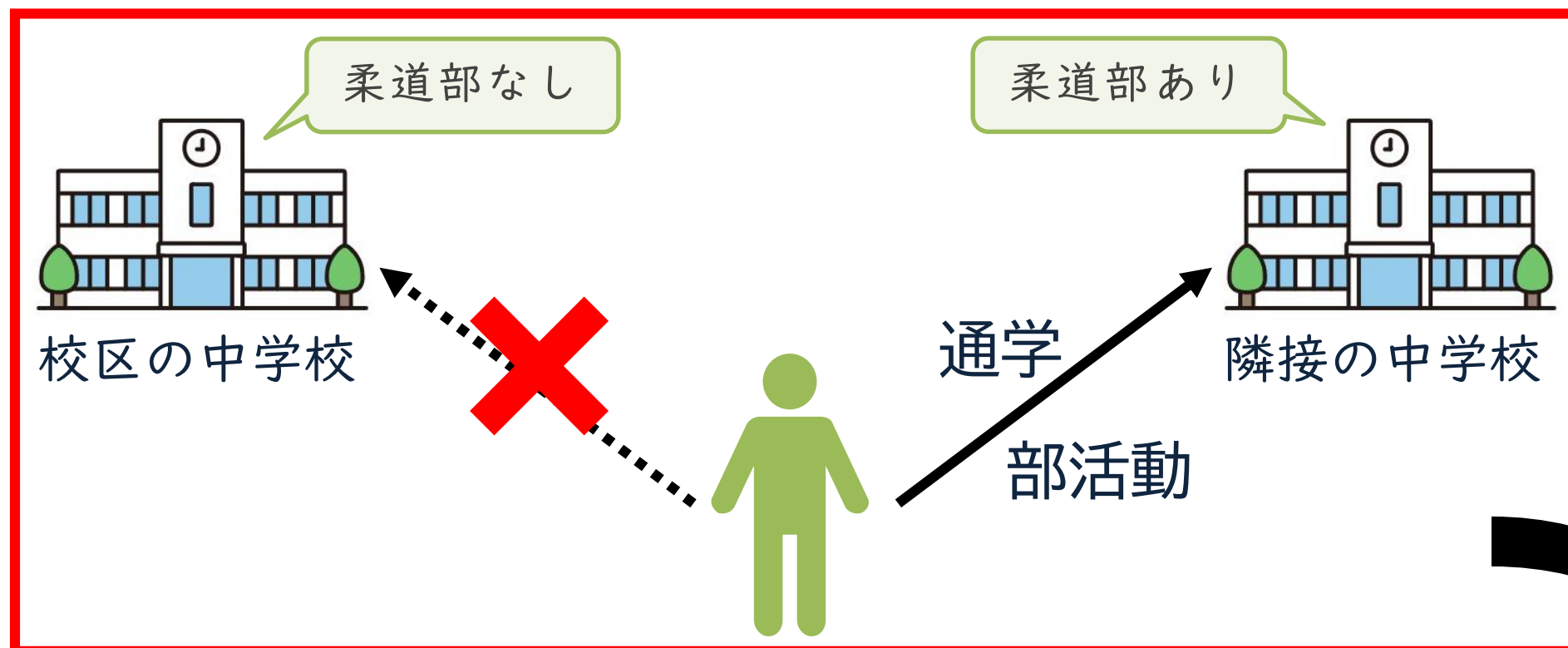
「川西市における地域クラブの在り方に関する方針」より



04 (1) 部活動の現状

20

≪隣接校区校への通学≫

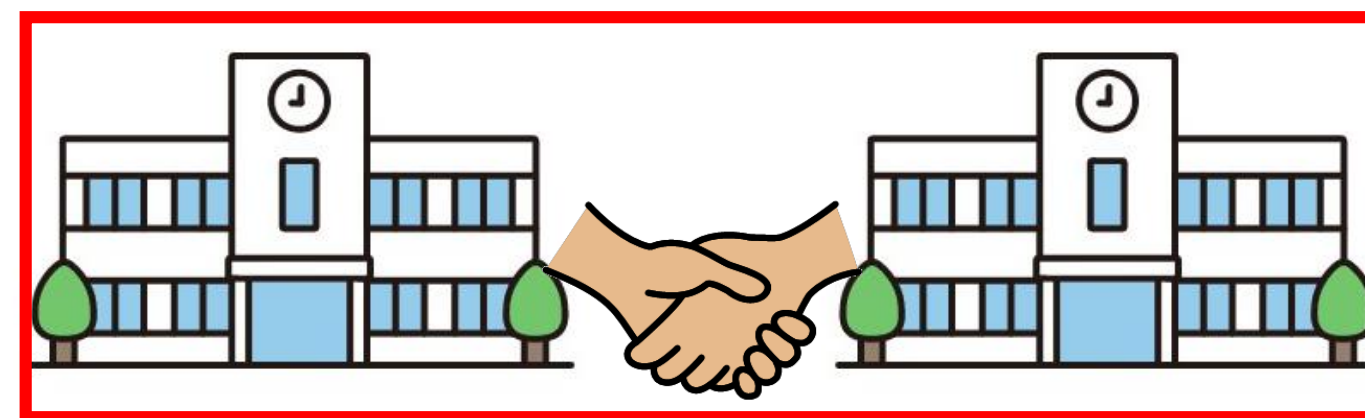


≪部活動の活動状況≫

実際の活動時間は
40分程度

- ・ 平日の活動は、通年で16時45分に終了
(教員の勤務時間に合わせている)
- ・ 週あたりに、平日1日・休日1日の
休養日の設定が必要となっている

≪合同部活動≫



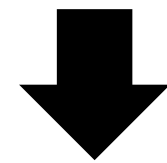
生徒数の減少によって、単独
ではチームが組めず、他中学
校と合同チームを結成してい
る種目もあります。



04 (2) 部活動の位置づけ

《経緯》

1998 (平成10)年の学習指導要領の改訂で、教育課程内の活動であった「必修クラブ」が廃止となり、教育課程外の「部活動」だけが残し、現在に至る



《現在》

部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学校で設置。(令和6年12月に学習指導要領解説の一部が改訂され、「部活動は教育課程外の活動であり、その設置・運営は法令上の義務として実施されるものではないことから学校の判断により実施しないこともある」旨が明記される)

表 1-1 部活動の学習指導要領上の位置づけの変遷

改訂年／完全実施年	教育課程内	教育課程外
中：1947／1947 (高：1947／1948) ¹⁾	自由研究 (クラブ活動)	
中・高：1951／1951	クラブ活動	
中：1958／1962 高：1960／1963 ²⁾	クラブ活動	
中：1969／1972 高：1970／1973 ²⁾	必修クラブ	部活動
中：1977／1981 高：1978／1982 ²⁾	必修クラブ	部活動
中：1989／1993 (1990) ³⁾ 高：1989／1994 ²⁾ (1990) ³⁾	必修クラブ	部活動 (代替措置)
中：1998／2002 (2000) ³⁾ 高：1999／2003 ²⁾ (2000) ³⁾		部活動
中：2008／2012 高：2009／2013 ²⁾		部活動
中：2017／2021 高：2018／2022 ²⁾		部活動

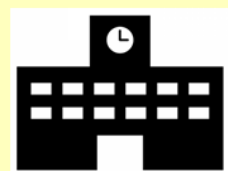
注：1) 小・中の学習指導要領一般編の補遺として通知された「新制高等学校における教科課程に関する件」の公表・実施年。

2) 学年進行で実施。

3) 移行措置により、特別活動は完全実施よりも前倒しで実施。

○イメージ図

地域クラブ



活動場所

市内の中学校

個別施設・文化施設



活動日数

週1～5日

※各クラブが柔軟に設定



参加者

参加範囲を柔軟に設定

※1校、複数校、**多世代**...



指導者

地域の指導者
(有志の教員や保護者等を含む)

中学生だけではなく、幼少期から大人まで、幅広く参加者を募集している地域クラブもあります。(※)



※参加者募集範囲の例

募集学年

小学校1年生
小学校2年生
小学校3年生
小学校4年生
小学校5年生
小学校6年生
中学校1年生
中学校2年生
中学校3年生
高校1年生
高校2年生
高校3年生

その他
(補足事項)

◆小学校1年生から、「学生と呼ばれる年代」そして「一般」も参加可。

05 これまでの歩みとこれからの取り組み

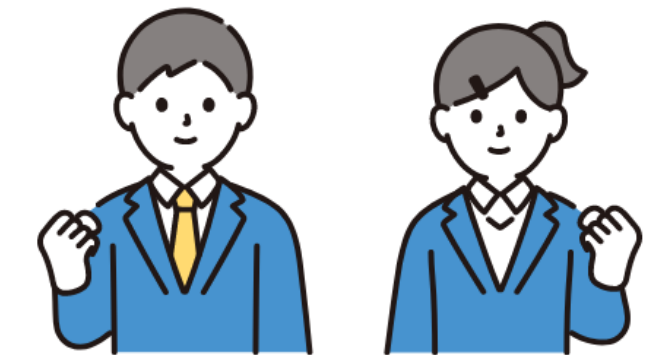
23

《これまでのおもな取り組み》



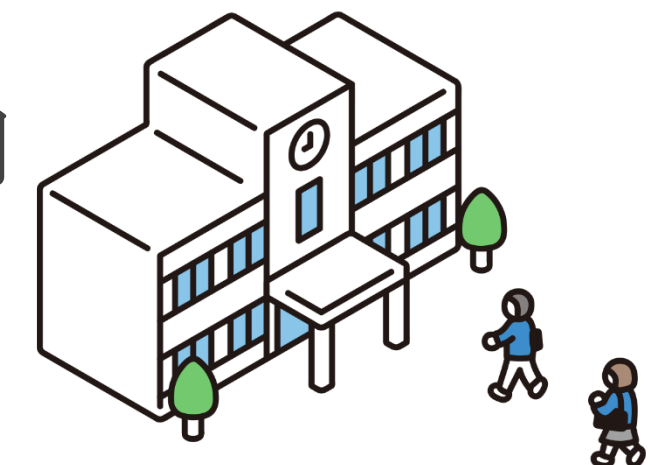
【令和5年度】

- ・ 10月～ (児童生徒) アンケート調査
- ・ 12月～ 保護者向け説明会 (小学校向け7回、中学校向け7回)
- ・ 3月～ 地域クラブ第1回公募＋面談



【令和6年度】

- ・ 5月～ 地域クラブ活動開始 (体験等含む)
- ・ 7月～ 地域クラブ第2回公募＋面談
- ・ 10月 保護者向け説明会7回
- ・ 1月～ 地域クラブ第3回公募＋面談
- ・ 1月～ 各中学校の新入生説明会において、今後の方針の説明
- ・ 3月～ 地域クラブポータルサイト開設



05 これまでの歩みとこれからの取り組み

24

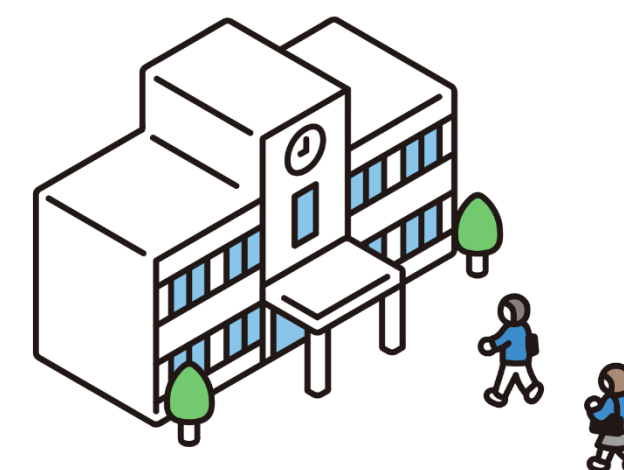
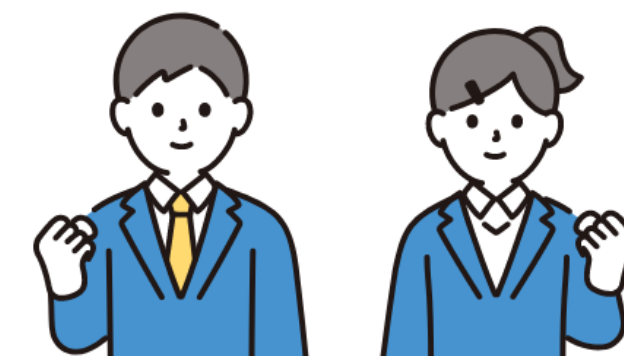
《これまでのおもな取り組み》

【令和7年度】

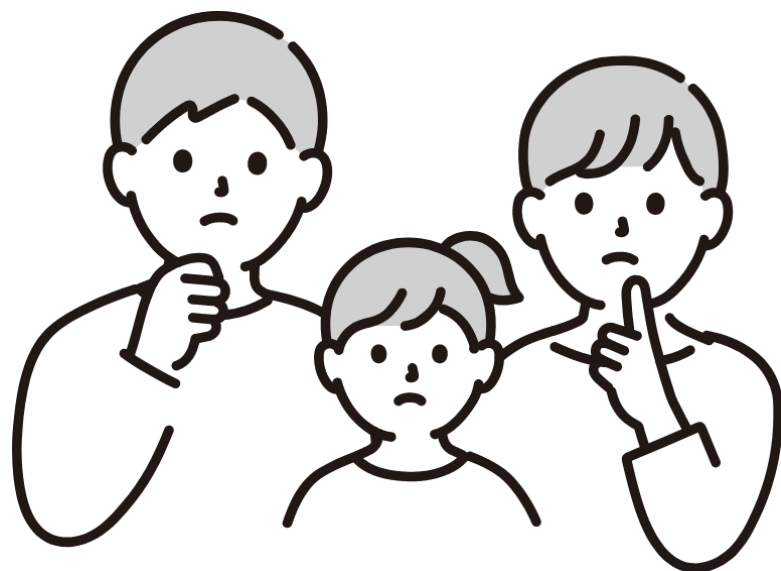
- ・ 4 月 地域クラブ合同体験会、就学援助世帯への補助開始
- ・ 7 月 第1回 地域クラブ担当者会
- ・ 8 月 第1回 川西市地域クラブ活動推進協議会
各中学校に投光器配備
- ・ 9 月 人材バンク活用開始
- ・ 11 月 地域クラブ合同体験会
第2回 地域クラブ担当者会
- ・ 12 月 第2回 川西市地域クラブ活動推進協議会
- ・ 2 月 第3回 地域クラブ担当者会
- ・ 3 月 第3回 川西市地域クラブ活動推進協議会

【令和8年度】

- ・ 4 月 令和8年度 地域クラブ担当者会、地域クラブ体験会



課題



地域クラブの活動費用は、受益者負担と聞いています。
子どもたちが経済的なことを理由に、地域クラブの活動に参加できない
ことがないようにしてほしいです。

取り組み

就学援助世帯を対象に、活動費を直接補助します。
川西市に登録する地域クラブで活動する生徒を対象にして、
年額30,150円（月でおよそ2,500円）を支給します。
※令和7年度より支給を開始し、令和8年度も継続します。



課題



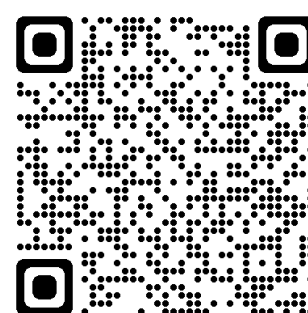
川西市にはたくさんの地域クラブが登録していると聞きます。
たくさんあるのは嬉しい一方で、どんな地域クラブがあって、どこで活動しているのか、情報が知りたいです。



あなたの「やりたい！」が見つかる
川西市の地域クラブ活動

🔍 種目から探す

📍 地域から探す



「地域クラブポータルサイト」トップページ

川西市地域クラブ専用の「地域クラブポータルサイト」を開設しました。校区や種目で簡単に地域クラブを検索できます。
それぞれの地域クラブが独自に情報を発信してくれています。
令和8年度はバージョンアップをし、機能の拡充を予定しています。

取り組み



課題



地域クラブになることで、教員から地域の指導者に替わります。地域の指導者が適切に指導を行うのか、心配な部分もあります。

地域クラブ指導者への研修を充実させると共に、地域クラブコーディネーターを配置し、活動の視察を実施しています。また、各学校に相談窓口を設置し、さまざまな形で相談を受けられるようにしています。

取り組み



地域クラブコーディネーターによる視察
(イメージ)



課題



地域クラブの運営は難しいけれど、子どもたちの活動を応援するために、自分がやってきた種目の指導のお手伝いや、活動の見守りぐらいであれば協力できるかもしれません。

川西市・部活動の社会移行

地域クラブ 指導者 大募集



「スポーツや文化種目の指導者として、子どもたちに関わりたい」
「指導はできないけれど、活動の見守りぐらいなら協力できる」
「地域クラブの運営も含めて挑戦してみたい」

子どもたちのために、**人材バンク**に登録して協力いただけませんか？

《人材バンクへの登録から指導・見守り開始までの流れ》

1. 人材バンクに登録をする（URLもしくは右下の二次元コードより）
(URL: <https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kyoiku/1019540/1022811.html>)
2. 子ども・保護者・地域クラブに登録情報を共有
(登録された情報は目的外に使用しません)
3. 子どもや既存の地域クラブのニーズと合致した方には、
教育委員会から個別に連絡
4. 条件が整えば、地域クラブとして発足!!
もしくは、地域クラブの指導や見守りの開始!!



「人材バンク」
チラシ

《参考資料》
各二次元コードから
ご覧ください

川西市では、
どのような地域
クラブが活動
している？ →



川西市が進める
「部活動の社会
移行」とは？ →



地域クラブの指導や見守りのお手伝いをしていただける方は、
「人材バンク」を通じてご登録いただきますと、地域クラブとマッチングをさせていただきます。

取り組み



【中体連主催大会への参加に必要な資格取得を補助】

- ・中体連主催大会への参加に必須となる指導者資格を新規に取得する場合、必要な費用の補助を実施します

【放課後の居場所づくりへの支援】

- ・これまでの放課後の時間帯に、各中学校で新しい取組を実施する場合の必要経費を補助します

【地域クラブ主催の新しい大会やイベントの開催支援】

- ・スポーツや文化ともに、成果を発表できる場を確保するため、新しい大会やイベントの開催を支援します

